学校だより

清　流

立山町立立山中央小学校

令和４年６月

新聞だからできる学び

今年度、立山中央小学校は「NIE実践指定校」に選出されています。ＮＩＥ（Newspaper in Education＝「エヌ・アイ・イー」と読みます）は、学校等で新聞を教材として活用する活動です。教育界と新聞界が協力し、社会性豊かな青少年の育成や活字文化と民主主義社会の発展等を目的に掲げて、全国で展開しています。

先日、本校の６年２組で、「クラスが選んだ５大ニュース」の公開授業が行われました。１週間の紙面の中から心に残ったニュースを選んで「読み、考え、発表する力」を育む取組みです。ロシアのウクライナ侵攻の記事、プードル警察犬の記事等、一人一人の心に残った記事は違いましたが、それぞれが記事で紹介された出来事を自分事として捉え、よりよい社会に向けた自分なりの思いを語ってくれました。

情報化社会が進み、インターネットやSNSを通して情報を得ることができるようになりましたが、「様々なニュースに万遍なく触れることができる」「地域に密着した記事がある」「情報が正確である」等の、新聞のもつよさを見過ごすことができません。教育的に見ても、「語彙が増える」「整った文章構成に触れることができる」「社会に対する関心を高めることができる」といった、新聞のよさが考えられます。今後も新聞を教材とした学習活動の工夫に尽力し、子供たちの育成に努めていきたいと思います。ぜひ、ご家庭でも新聞記事を基にしたコミュニケーションを楽しんでみてはいかがでしょうか。

＜新聞記事を基に話し合う子供たち＞

広がる挨拶の輪！

毎朝プロムナードに子供たちの挨拶する声が大きく響いています。子供たちが自主的に玄関に立ち、登校する児童に元気よく挨拶をしている「あいさつ運動」です。

今月下旬のこと、折り紙と割りばしで作った手作りの「おはよう」のバナーを持って挨拶する４年生の姿がありました。素敵な色合いとさわやかな笑顔、前を通り過ぎる児童も自然と笑顔になっていました。そして、「あいさつ運動」が終わっての振り返りの時間、校長先生がその４年生に「どうしてそれを作ってきたの？」と尋ねると、ちょっと考えた後、「私は話すのが苦手だから、でも挨拶をみんなにしてもらいたいから作りました」との返事。その言葉に５、６年生からは「すごいな、苦手なことがあっても自分にできることを見付けてみんなのことを考えているんだね」「一生懸命がんばっていることが伝わってきて心が温かくなったよ」といった感想が次々と出ました。「あいさつ運動」を通してみんなの心がほっこり温かくなる場面でした。

＜「あいさつ運動」後の振り返りの様子＞

このエピソードはその日のうちに朝集会で１～６年生に紹介されました。一人の子の素直な思いで作られた小さなバナーから広がる挨拶の輪がこれからもどんどん広がっていきそうです。

挨拶は心のバロメーターとも言われます。ご家庭でのお子さんの挨拶の様子はどうでしょうか。朝起きたとき、帰宅したとき、食事のとき、等々、様々な場面で積極的に声をかけて、見守り、励ますきっかけとしていただければと思います。

テレビ放送のお知らせ

「すぐーる」でもご案内したとおり、６月２４日（金）に県内生放送されたNHKラジオ「きときと！スクールライフ」の様子が、テレビで放送されます。

日時：7月6日（水）18:15～　番組名：「ニュース富山人」

また、番組ＨＰには当日の放送中の名場面として写真が載っております。ラジオのアーカイブ（聴き逃し配信）も番組ＨＰ上で７月４日（月）午後0:00まで聴くことができます。以下のＵＲＬをご参照ください。　https://www.nhk.or.jp/toyama/kitosuku/